

兵庫県保険医協会 神戸支部第30回総会記念講演のご案内

# 睡眠時無呼吸症候群

演題 「最近の知見と治療の実際」 神戸アドベンチスト病院副院長 森 経春先生  
「OA(マウスピース)の効果について」 井尻歯科クリニック院長 井尻博和先生

日時 2009年10月17日(土) 15:00 ~ 17:00

会場 兵庫県保険医協会会議室(JR・阪神元町駅南へ徒歩7分 兵庫県農業会館西隣)

共催 帝人在宅医療株式会社

## 「最近の知見と治療の実際」

睡眠時無呼吸症候群はさまざまな事故の原因となり、患者数が我が国で200万人以上と非常に多いことで注目されています。以前から心疾患患者が睡眠中に突然死や発作性心房細動、急性心不全を起こすことは知られていますが、最近様々な循環器系の病態が本疾患と深く関連していることも明らかとなってきました。

気道閉塞による胸腔内圧の大きな変化は心臓の過負荷、左室肥大を誘発し心筋の酸素需要が増大します。一方、低酸素血症と交感神経活動の亢進は睡眠中の心筋虚血や体液貯留を引き起こし心不全を起こします。また、脳血管障害による死亡の最大のリスクとも言われています。

これらはメタボリック症候群とも密接に関連し、夜の生活習慣病とも言えます。また、内分泌系に作用して痩せにくくなることも知られてきました。

今、日中の眠気のみならず、重大疾病予防の観点からこの疾患を発見し、正しく治療することが求められています。

【森 経春 記】

## 「OA(マウスピース)の効果について」

睡眠時無呼吸症候群(SAS)における歯科的治療にマウスピースによる治療があります。SASの治療でのマウスピースのことを歯科ではオーラル・アプライアンス(略してOA)と呼んでいます。

SASのなかで最も頻度の高い閉塞性睡眠時無呼吸症候群(睡眠時の呼吸障害の約80%)の方が対象となります。閉塞性睡眠時無呼吸症候群は上気道が閉塞することによっておきますので、睡眠中にOAを装着することによって下顎を前方に引き出し気道を確保して治療します。

当クリニックでは2005年より神戸協同病院と連携してSASの方のOAによる治療に取り組んでいます。OAによってほとんどの方でいびきが軽減し、無呼吸・低呼吸も多くの方で改善がみられています。実際の症例を通して、SASにおけるOAの効果とその治療には必須となります。医科・歯科の連携についてご紹介させていただきます。

【井尻 博和 記】

10/17(土)神戸支部第30回総会記念講演 FAX(078)393-1802 へご返信下さい

・総会(14:30~) 参加 不参加(議事の一切を議長に委任します)

・記念講演(15:00~) 参加( )名

・懇親会(17:30~) 参加( )名 ※参加費無料

(会場:ニュームン神戸大使館 TEL 078-391-3656)

( )区 医療機関名 氏名

# 兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

221号

2009年9月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸ワコ生命海岸通ビル5F  
兵庫県保険医協会神戸支部 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

## 神戸支部研究会

# 胃がん発生とピロリ菌の関係明らかに



寺尾先生は画像をつかって分かりやすく説明した

神戸支部は9月12日に協会会議室で研究会「胃癌対策の転換の必要性と診療現場での課題—早期発見から一次予防へ—」を開催。神鋼加古川病院消化器内科部長の寺尾秀一先生を講師に25人が参加した。

寺尾先生は、胃癌発生とピロリ感染症は重大な関係があることを説明。日本ヘリコバクター学会作成のガイドラインでもピロリ除菌が胃・十二指腸潰瘍の治療だけでなく予防、感染経路抑制にも有効であると改定されたことを症例も示し解

説した。

寺尾先生は「一般の診療現場ではピロリ菌感染者に対し適切な対応がなされていない場合もある」とし、「健康保険でのピロリ除菌は消化性潰瘍に制限されており、研究者のコンセンサスにもかかわらず広範囲の除菌を認めていないことは緊急に再考されるべき。このままでは胃癌の発生は増大し、胃癌による死亡が年間7万人になるといわれている。胃癌大国の日本で今、対策を取らなければ」と訴えた。(感想文は次号掲載予定)

# 神戸市民集會に250人

## 市民のための市政に



協会神戸支部など19団体で共催した

10月の神戸市長選にむけ、市政に関わる諸要求運動を盛り上げ、市民のための市政へ転換しようと9月7日に県中央労働センターで「いのちと暮らしを守る神戸市政への転換をめざす市民集會」が開催された。

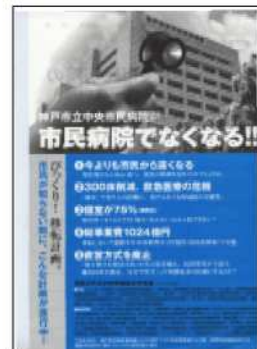
市民ら250人が参加した。協会神戸支部や県社保協神戸市協議会など19団体の共催・共賛によるもの。

長友薫輝三重短期大学准教授が「社会保障としての国保問題」と題して講演。長友氏は、社会的共同生活手段としての社会保障が市場化の対象とされ、所得再分配機能が低下している現状を告発した。国民健康保険では、公的責任にかわって戦前の旧国保法の「支え合い」「助け合い」の精神がまかり通り、高すぎる国保料や保険証取り上げにつながっていると指摘。本来の姿である社会保障としての国保の再生に向け、地域からの情報発信と運動が重要だと訴えた。

集會では、矢田神戸市政8年間の問題点

を総括するとともに、参加団体が中央市民病院の移転凍結や国民健康保険料引き下げ、敬老パスの無料制度復活など、運動の到達点を報告。国政で自公政権ノーマの力が政権交代を実現したように、神戸でも市民のいのちと暮らしを守る市政を実現しようと確認した。

### 署名にご協力ください



市民病院の移転計画凍結と見直しを求める署名

## 社保協 神戸大丸前で署名行動

### 1時間で100筆 「国保料は高すぎる」の声

社会保障推進協議会神戸市協議会は9月17日、元町大丸前で「国保料引き下げ・後期高齢者医療制度廃止」と「中央市民病院移転計画の一時凍結」などを求める宣伝活動を行い、1時間の活動で100筆を超える署名が集まった。市民からは「国保料は高すぎる」などの声が寄せられた。



買い物客らが次々と署名に応じた

## 健康情報テレホンサービス

0120-979-451

<10月のテーマ>

- 月曜日 RSウイルス感染症とは
- 火曜日 「保険でより良い歯科医療を」のとりくみ
- 水曜日 おしっこの色と病気
- 木曜日 急な胸の痛み—さあどうしよう!
- 金土日 新型と季節性のインフルエンザ—予防と受診—



9時30分から曜日ごとにテーマを変え、24時間いつでも、3分間程度の放送が流れます。なお、祝祭日は前日の放送が流れます。

### 投稿を募集しています



支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

FAX 078-393-1802 または e-mail tamura@doc-net.or.jp 担当:田村まで